

意見書：河川整備計画の目標流量と回帰年数

2006 年 2 月 21 日 奥西一夫

第 35 回流域委員会に第 24 回総合治水WTの検討結果が報告されるが、同 WT に河川計画課から提出された資料では河川対策の対象流量を 2,900m³/s または 3,300 m³/s とする時の治水安全度（回帰年数）を S57 型と H16 年型にわけて別の年数が示されている。どのような方法でこの治水安全度が求められたのか、つまびらかでないが、同じ流量に対して異なる治水安全度があるということは極めて奇異なことである。そこでごく素朴な発想で、以前に提示した流量統計グラフにそれを載せると下図のようになり、統計的事実から誤差範囲をはるかに超えて乖離している。また、ひとつの流量にひとつの回帰年数が対応するという、極めて当たり前の事が示されている。

なお、3,300 m³/s という流量は流量統計では回帰年数が 50 年程度となり、流量統計期間の約 2 倍になるが、回帰年数 100 年の 24 時間雨量は約 50 年間の雨量観測データから引き伸ばされており、統計的信頼度は同程度であることを申し添える。

